WDSF世界選手権 ジュニア II ラテン報告

Vagos, Portugal Vagos スペイン パレテレスタ ポルトカル そと りゅ アルショア はない はない かんしゅう マステン パレンシア オルトカル



選手強化部長 竹下 次郎

開催地:ポルトガル バゴス市(ミュニシパル・パビリオン)

開催日:2023年10月28日(土) WDSF世界選手権ジュニアⅡラテン

2023年10月29日(日) WDSF世界選手権シニア I ラテン

ジュニアⅡ チーム<u>・ジャパン</u>

代表選手:藤枝 大河・宮澤 めぐ組

原澤 英大・竹之内 梨音組

带同役員:竹下次郎

世界選手権等の帯同役員を務めるのは、今回で10回目となりますが、コロナ禍のため4年ぶりとなり、自ら作成したJDSF帯同役員マニュアルを改めて確認しながら、業務を進めることとなりました。

最初に、特筆しなければいけないのは、世界選手権主催者のポルトガルダンススポーツ連盟のMr.André Vieiraにとても良くしていただいたこと。大変感謝しております。問合せのメールを何回しても、瞬時に返事をくださるとても真面目な方でした。また今回は、現地でのホテル代金等を自ら海外送金する必要があり、和田知世さん(シニア I ラテン世界選手権日本代表)にWebでの送金方法を教えて頂き、とても助かりました。

1. 現地到着

10月27日、エールフランス航空で羽田から約13時間の飛行後、午前8時パリ空港に到着。トランジットに6時間、ポルト空港まで飛行1時間半、そして空港で1時間程待って、100km離れたバゴス市までバスで移動という、ほぼ24時間の移動となりました。バゴス市のオフィシャルホテルHerdade do Lago Realは、まるでリゾートホテルのようで、特にフロントの方がとても親切なのが印象に残りました。ルームキーを渡されてから、フロント



係が部屋まで案内してくれましたが、海外のホテルでこのような「おもてなし」を受けたのは初めてだったので、とても感動しました。

2. 会場 Municipal Pavilion of Vagosへ移動



会場でのメイクアップを予約していたということから、 めぐと梨音は午前5時半にホテルを出発し、会場へ向か いました。きっと3~4時間の睡眠だったことでしょう。

会場は、更衣室が6カ所用意されており、選手も余裕を持って着替えることができました。背番号や予約席券をもらう場所もはっきりしており、各スタッフの対応もとても親切で、ポルトガル人の優しさを肌で感じました。特に、予約席券を受取りに行った時に「Takeshita」とスタッフに名前を告げると「おー! 日本から来たTakeshitaだね。私はよく知っているよ!」と言われ、嬉しくて泣きそうになりました!

世界選手権ジュニアⅡラテン

セレモニー開始14時30分、 競技開始15時、競技終了24 時10分。競技開始前に高い 所からフロア全体を俯瞰 し、自分たちが最高のパ フォーマンスを発揮して 踊っているイメージを脳に 覚えさせる。大河と英大を 2階観客席に連れて行き、 緊張している心を落ち着か せるため魔法をかけた。



日本の競技会と異なり、海外では一次予選のヒート割が開始直前までモニターに掲示されず、待っている間、 久しぶりのドキドキ感を楽しんだ。そしてヒート割が掲示 されたら、直ぐに入場口まで走って大河と英大にメモを 渡す。海外でないと味わえない久しぶりのハラハラ感だ!

いよいよ一次予選開始、まずはサンバ、フロアに進む 二人に背中を押すように声をかける。『大河、めぐ、思いっ きり楽しんで来い!』。世界選手権独特の大歓声の中でも、 いつも通りのサンバを踊る大河とめぐ。日頃の練習の結 果をしっかりと見せる、さすがにすばらしい!『英大、 梨音、持ってる力をすべて出しきって来い!』。 負傷し ている膝の痛みを忘れさせるエネルギッシュなサンバ! 『よし、その調子だ! 英大、梨音、頑張れ!』。 久しぶり の世界選手権に彼らと一緒に楽しんでいる自分がいた。

3. 未来へつなげて

競技終了後、未来につなげる話し合いをした。「今回の世界選手権を踊って、どんなことを感じたか」「自分たちの踊りには、何がこれから必要か」「今後自分たちは、どのように練習をしたらよいか」。

体力的にも、技術的にも、海外選手との間には高い壁があった。しかしこの高い壁の向こうには、更に輝いた 藤枝大河・宮澤めぐ組、原澤英大・竹之内梨音組がいる だろう。 今回初めての世界選手権出場の大河・めぐ組、2回目 出場の英大・梨音組ともに、第3ラウンドへのアップは 叶わなかったが、世界の風を受け、自分たちの踊りと体 力を改めて見直すチャンスを得たことが、彼らが更に進 化していくきっかけとなることを期待している。そして、 来年の世界選手権も一緒に行こうと約束した。



ジュニアⅡチーム・ジャパン

競技結果

1位 キプロス

Ivan Marynich - Petrova Melaniia

2位 ルーマニア

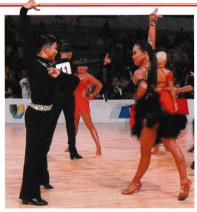
Marius-Tiberiu Padurean -Adelina Stanciu

3位 ラトビア

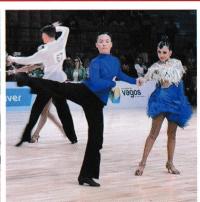
Jegors Prokins - Polina Karimova

59-62位 藤枝 大河・宮澤 めぐ組

原澤 英大・竹之内 梨音組



藤枝大河・宮澤めぐ組



原澤英大・竹之内梨音組

世界選手権シニアIラテン

代表選手:押川 慧悟・和田 知世組 石田 茂之・矢野 美帆子組

蜷川 博信・浅田 舞組

私たちジュニア II メンバーは、日本代表選手に大応援を行ない世界選手権会場を大いに盛り上げました。特にTBS金スマのカメラクルー(ディレクター: 黒川展寛氏)が撮影しており、海外選手もかなり意識して踊っている感じでした。

昨年の世界選手権で4位入賞した押川・和田組も今回は第4ラウンド(最終予選)13位、石田茂之・矢野美帆子組23位、蜷川博信・浅田舞は34位という結果となりポルトガルの世界選手権は終了しました。



シニアI代表選手。左より蜷川・浅田組、押川・和田組、石田・矢野組